

一般質問者一覧表 〔第3回市議会定例会  
令和元年10月1日、2日開議〕

質問日	令和元年10月1日(火)		質問方式	分割方式			
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	15	氏名	久米 丈二
表 題		質 問 内 容					答弁者の職名
1	本市の農業振興について	<p>市長は、今期、市政4期の集大成として、本市の農業の振興をしっかり図っていききたいと述べた。</p> <p>農業者としては、大変ありがたく大いに期待しているところである。</p> <p>そこで、鈴木市政4期目において、市の農業振興の重点目標をどのように考えているか伺う。</p>					鈴木市長
2	産地強化に向けた支援について	<p>三ヶ日町は古くからミカンの町として知られてきた。今から約300年前に紀州那智地方より持ち帰り庭の片隅に植えた紀州ミカン起源とし、昭和30年初頭からの青島ミカン主力とした品種の系統の統一化や、三ヶ日町柑橘出荷組合の結成により、生産から販売に至る一体的な取り組みが、現在の三ヶ日ミカンを支えている。</p> <p>農産物は、市場において適正な価格で販売されなければ農家は所得の安定を図れない。そのため、産地の責務として、品質の安定化や高品質化、出荷数量の安定供給を行うことで市場における信頼度を高めているところであり、地域一体となってミカンの価値を高める取り組みをしている。</p> <p>そこで、全国の産地間競争の激化が益々予想される中、生産者団体等が一体となって進める産地強化に対して、どのような支援を考えているのか伺う。</p>					山下農林水産 担当部長
3	地域ブランドについて	<p>現在、若い生産者によって育てられている三ヶ日牛は、松阪・飛騨・近江牛などのブランド牛が参加する中、肉牛の品評会で、一昨年は一席二席三席と上位を独占し、専門家を驚かせた。また、平成31年2月に経済産業省特許庁による地域団体商標を取得するなど、近い将来松阪牛に並ぶブランドになる可能性を持つと考える。</p> <p>このようなすばらしい食材は三ヶ日町だけではなく、本市には大変多く存在している。これらの浜松の農産物を手ごろな値段で安全でおいしく、地元や観光客に提供すれば、全国ブランドとなって、本市の大きな力になり、農業者の大きなやりがいにつながると考える。そのためにはトレーサビリティを徹底し、グローバルギャップなどの取得を目指し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の食材としても認められることを目標とすることも必要であると考え。そして、浜松の農産品のブランド力を上げて、観光客を呼べる政令市としていくべきと考える。そこで地域ブランド推進をどのよう</p>					山下農林水産 担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>4 人・農地プランの実質化について</p> <p>5 市独自の農業助成制度について</p> <p>6 若手農業者の育成について</p>	<p>にしていく考えか伺う。</p> <p>本年5月、農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部改正により、地域課題やその解決策を話し合いにより自ら考える、人・農地プランの実質化に取り組むよう国が推進方針を示した。</p> <p>本市における農業の維持・発展のため、地域の将来図を検討することは大変重要と考える。そこで、人・農地プランの実質化について、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>現在、国の農業助成制度は経営体育成事業等があるが、大規模稲作農家を中心に設定されており、中規模または家族経営農家、小規模農家が使おうとしてもハードルが高くとても採用されるものではない。また、本市も数年前に採用を見送られた経緯がある。</p> <p>しかし、これでは本市の農業が発展していくためには障害となってしまう。私も浜松市認定農業者の役員として数年、現状を見てきたが、家族経営の小規模・中規模農家がほとんどであるため、この制度に採用されるのは難しいのが現状であった。</p> <p>現在、本市には認定農業者等育成支援制度があり、小規模・中規模農家の経営発展を支援しているが、国の経営体育成事業と比べると支援割合が半分程度となっている。</p> <p>そこで、認定農業者等育成支援制度を手厚い制度にして、市の農業振興を強固にするべきと考えるが考えを伺う。</p> <p>国の農業次世代人材投資事業を使い、年間150万円で5年間支援を受け、県内外から本市で農業をしようと夢を持って就農する若者たちがいる。しかし、仲間づくり、または経営販売に対しての知識が足りないため、経営が成り立たなくなつて、離農してしまうケースが全国的に大変多く見受けられる。</p> <p>本市には認定農業者協議会の支部が8支部あり、市内全体に会員がいる。この組織の協力を仰ぎ新規就農者に生産技術や販売方法、仲間作りなど、気軽に指導相談ができるよう、市の協力のもと、農業者を育てるシステムづくりが必要と考える。</p> <p>そこで、浜松版農業者定着システムを構築する考えがあるか考えを伺う。</p>	<p>山下農林水産 担当部長</p> <p>山下農林水産 担当部長</p> <p>山下農林水産 担当部長</p>
<p>7 三ヶ日町釣橋川以西の緊急避難場所の確保について</p>	<p>近年の異常気象により、局地的大雨、ゲリラ豪雨、また大型台風による強風被害、地震による広域災害等が、全国各所で発生している。本市各所においてもこのよう</p>	<p>宮城危機管理 監</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>な、洪水浸水被害が頻繁に起きているように思われる。</p> <p>北区三ヶ日町釣橋川においても毎年大雨による水位の上昇に伴う避難情報、避難勧告等が数回発令されており、地域住民はそのたびに大変な不安を感じている。</p> <p>緊急避難場所として以前は三ヶ日高校体育館が指定されていたが、浜松湖北高校の開校に伴い、解体された。</p> <p>そのため、現在の防災計画では釣橋川以西の西町と西天の一部、御園、釣、鶴代、日比沢、本坂地区の住民は、三ヶ日西小学校体育館と特別教室、三ヶ日協働センターに振り分けられている。</p> <p>これらの地区の緊急避難場所は極めて遠距離となり、その間には幾つかの橋が存在するため、高齢者や、障がい者の避難には困難を伴う。また、三ヶ日中学校は、猪鼻湖の埋め立て地にあり、津波と地震による倒壊のおそれがあるため、緊急避難場所として指定されておらず、三ヶ日町西部地区における緊急避難場所は著しく不足している。この現状に地域住民からは不安の声が上がっている。</p> <p>大規模災害に限らず災害は起きてしまったからの対応も非常に大事ではあるが、起きる前にできることは最大限準備するべきと考える。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 市としての緊急避難場所設置の基本的な考え方について伺う。</p> <p>(2) 三ヶ日町釣橋川西岸における身近な緊急避難場所の確保についてどのように考えるか伺う。</p>	
<p>8 本市におけるマリンスポーツ推進について</p>	<p>遠州灘海岸、浜名湖周辺などでは年間を通じて、水温や風、波等の好条件に恵まれビーチ・マリンスポーツを楽しめる環境にある。</p> <p>浜松市ビーチ・マリンスポーツ事業計画は整備地区をゾーニングしているが、ゾーニングから外れている三ヶ日青年の家から大崎半島南海岸も、風光明媚な景観に加え、マリンスポーツが盛んに行われている。美しい景観を見ながらゆったりとマリンスポーツを楽しめる魅力的なビーチパークを整備し、奥浜名湖周辺を、三ヶ日青年の家周辺の大会誘致ゾーンだけでなく、この豊かな自然環境を生かし移住・定住を促進し、観光やマリンスポーツが楽しめるゾーンとしたらどうかと考える。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) ビーチ・マリンスポーツ事業化計画によって、本市のビーチ・マリンスポーツを楽しめる環境づくりをどのように推進していくのか伺う。</p> <p>(2) 奥浜名湖周辺を魅力的なビーチパークに整備する考えがないか伺う。</p>	<p>寺田文化振興担当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>9 サイクルツーリズムの方向性について</p>	<p>国は、ナショナルサイクルルート制度を設立し、3ルートを第1次候補ルートに選定した。また、全国サイクリング道路40選の選定も2020年に行われる予定である。</p> <p>浜名湖の湖岸の景観、奥浜名五山などの歴史、ウナギやフグ、三ヶ日牛などの食材など恵まれた素材を持つ本市において、十分な整備を行い、交通安全対策をとれば、世界7大サイクリング聖地と言われるしまなみ海道に劣らない地域になると考える。</p> <p>静岡県においても、太平洋岸自転車道や浜名湖周遊自転車道など、県内各地で安全・快適な走行空間の整備が進み、サイクルピットなどサイクリストの受け入れ環境の整備も加速して、サイクルスポーツ全体に注目が集まる中、全県を挙げて万全の準備を進めるとともに、大会を契機としたレガシーの創出・継承に取り組んでいる。</p> <p>そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 浜名湖周辺の観光ポイントをサイクリングで回るルート紹介はしているのか伺う。</p> <p>(2) サイクルツーリズムに対するソフト事業の現状と今後の方針について伺う。また湖西市と静岡県とどのような連携をしているのか伺う。</p> <p>(3) 安全で安心な浜名湖サイクリングを行える道路環境整備の現状と今後の方針について伺う。</p>	<p>石坂観光・ブランド振興担当部長</p> <p>〃</p> <p>柴山土木部長</p>